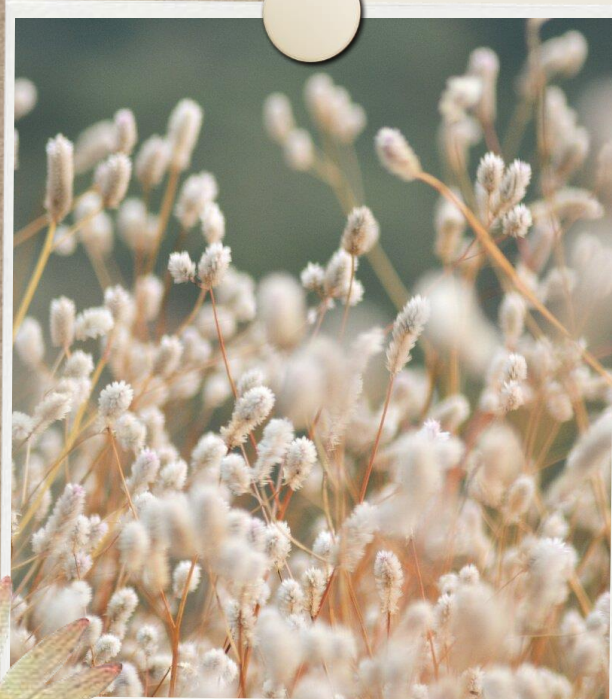
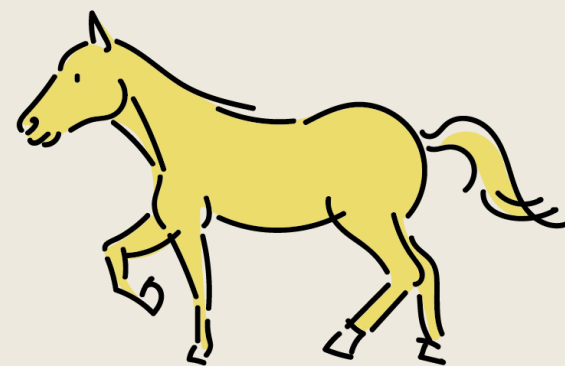


生活デザイン農学 研究室



生活デザイン農学とは

生き物は私たちの暮らしの中で多面的な機能を持ちます。動物とのふれあいやガーデニングなど、動植物にしか成し得ない心理面や身体面での効果を評価し、教育、医療および福祉の分野で活用する手法について研究を行うのが生活デザイン農学研究室です。農福連携による就労支援や健康寿命の延伸につながる取り組み等、社会と環境にやさしい生活スタイルの構築を目指します。



土橋ゼミ

人と植物の関係を明らかにすることで、より良い生活を提案することをテーマに学ぶ土橋ゼミ。植物を活用した活動による生理的・心理的影響など基礎的知見の探求、地域における様々な対象者への実践的を行っています。

また、エキウム属植物の根に含まれるシコニン誘導体に注目し、新たな商品開発に取り組んでいます。



土田ゼミ

人と家庭動物との適切な関わり方について考え、適正飼養の普及をテーマに学ぶ土田ゼミ。

モルモットやスナネズミの管理をはじめ、国内外の文献調査や生き物を活用した体験学習の実践等を通して、動物との関係性のあり方や動物にとってのウェルビーイングを考える目を養います。

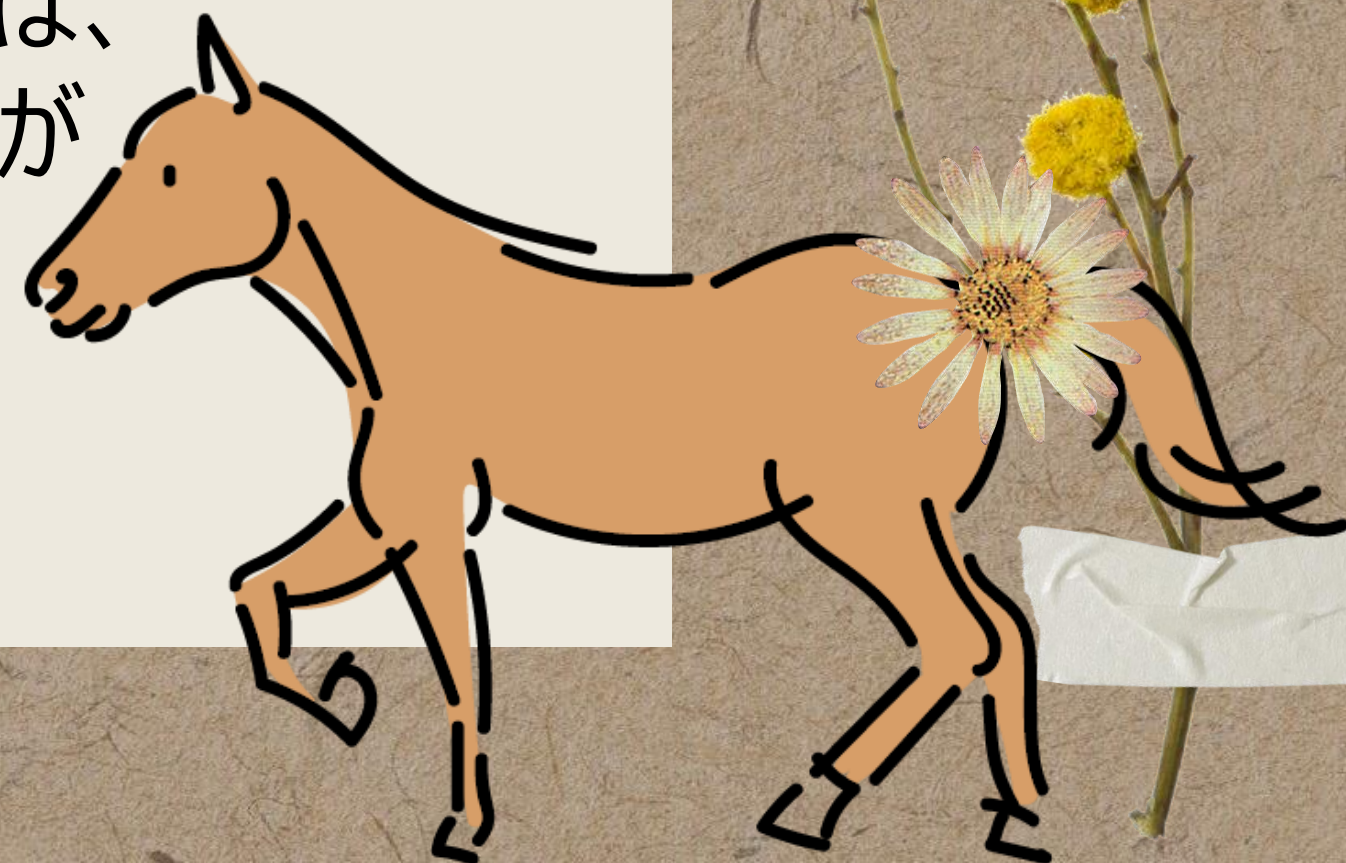


川嶋ゼミ

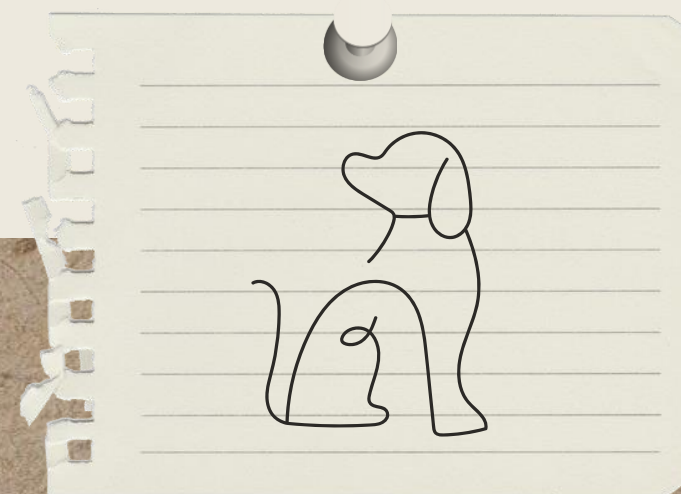
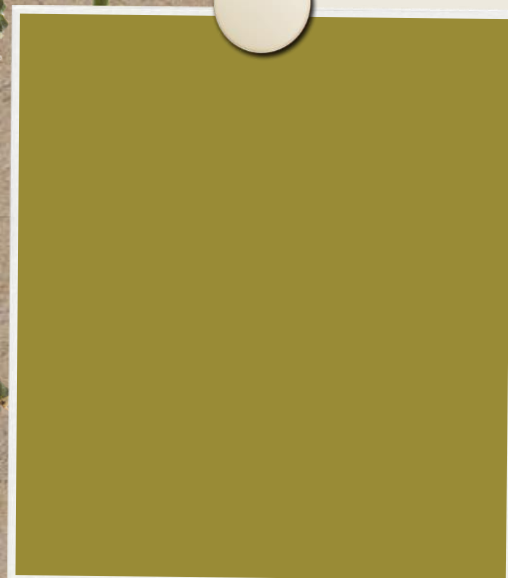
馬をパートナーとした、医療・教育・心理的対応の探求をテーマに学んでいる川嶋ゼミ。

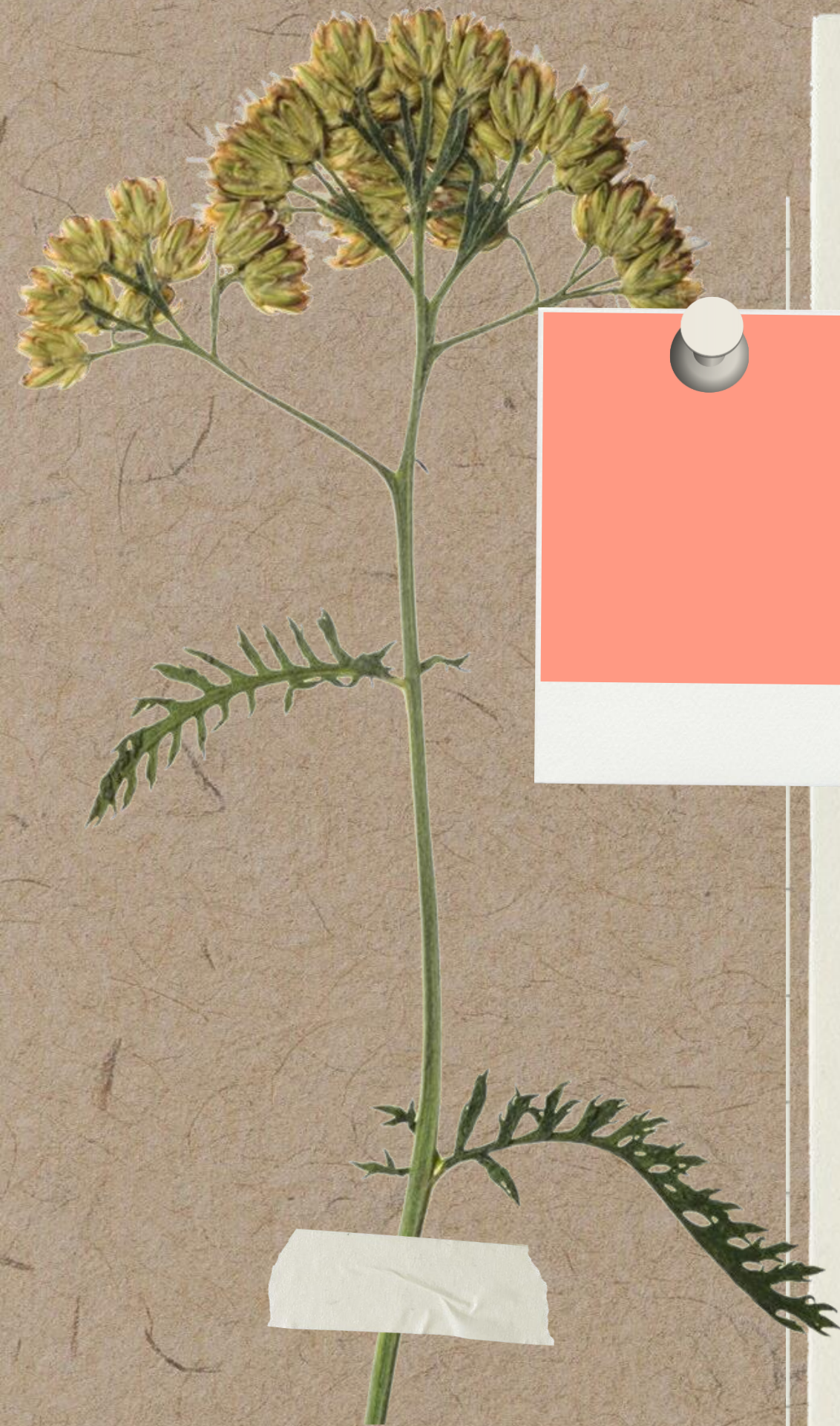
発達支援ルームや適応指導教室など、学外の機関とも連携して実践的な研究活動を行っています。

馬は、人が「乗る」ことができる動物です。乗馬には、精神面や社会性の向上に加え、身体的な効果があることもわかっています。



生き物連携センター

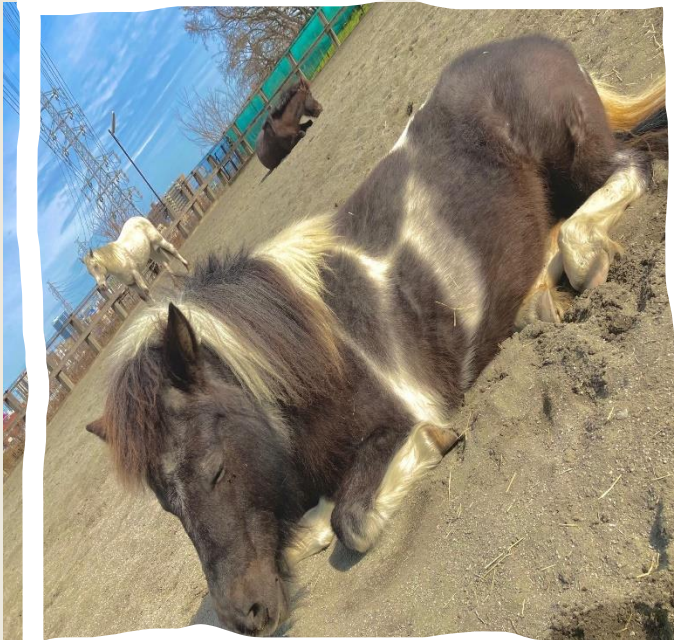




ここは、人と動植物との関わりに関する
教育・研究を行うことを目的に開設され
ました。主要施設として、管理棟（犬
舎を併設しています）、厩舎、馬場、
「もったいないガーデン」などが挙げられ
ます。
現在は、犬・馬・緬羊・ウサギ・モルモット
を飼養しており、動物は他学科を含めた
3研究室で、植物は生活デザイン農学
研究室の学生のみで管理を行っています。



センターのひとコマ



当番のときには、私たちも馬の運動を兼ねて定期的に乗っていますよ～！



もったいないガーデン

病気や障がいにかかわらず、幼児から高齢者まですべての方に園芸を楽しんでいただけるよう工夫を凝らしたユニバーサルデザインの庭。実は、みんなの「もったいない」精神から生まれたのです。太陽光や雨水、屋根の緑化といった自然資源の活用、落ち葉の堆肥化など環境に配慮した緑地となっています。

もったいないガーデンの詳しい説明・マップはこちら 

<https://www.nodai.ac.jp/application/files/2814/7920/3268/garden.pdf>





FILM NEGATIVE

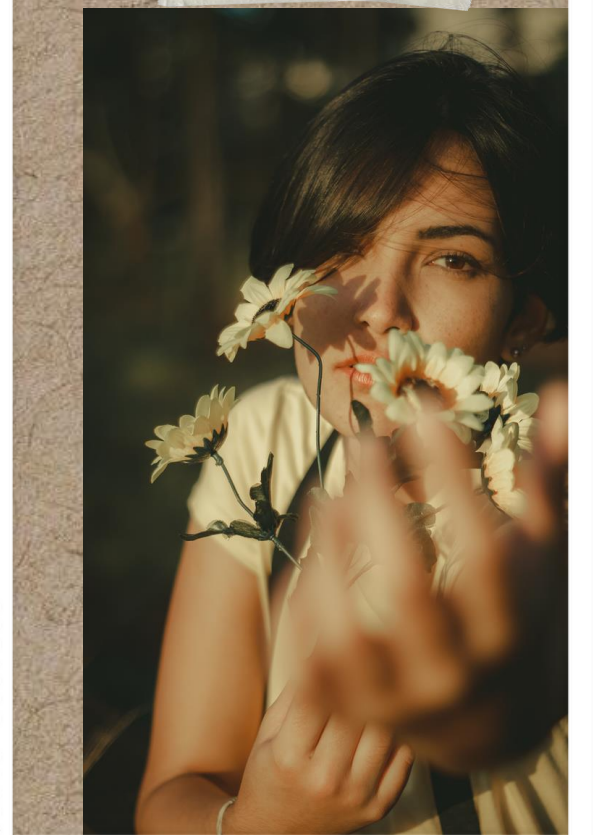


Canva Stories



生活デザイン農学研究室、また私たちの
研究活動について、少しでも多くの方に
知っていただけたら嬉しいです😊

最後まで見てくださった皆様、
ありがとうございました！



Canva Stories



FILM NEGATIVE